

平成29年  
第3回定例会

平成28年度決算を認定

歳出総額 599億円



2017プレナスなでしこリーグ1部で優勝し、リーグ3連覇を果たした日テレ・ベレーザが正副議長を訪問されました。  
〔右から東京ヴェルディ(株)羽生社長、北浜議長、岩清水選手、つじ副議長、森監督〕

### 第3回定例会の概要

市議会は、平成29年第3回定例会を9月1日から9月29日までの29日間にわたって開催しました。

この定例会では、平成28年度一般・特別・病院事業会計決算をはじめ、稲城市市税条例の一部を改正する条例、平成29年度東京都稲城市一般会計補正予算(第2号)、平成29年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)、平成29年度東京都稲城市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)、稲城市固定資産評価審査委員会委員の選任について、人権擁護委員の候補者の推薦について、稲城市教育委員会委員の任命について、平成29年度東京都稲城市一般会計補正予算(第3号)の19件の議案と、議員から提出された2件の議案を審議し、8件を原案のとおり可決し、決算7件を認定し、6件に同意しました。市民から提出された陳情1件は、不採択という結果でした。

また、9月6日から4日間にわたり18人の議員が市政について92項目の一般質問を行いました。

### 議 会 日 程

7月	8月	9月
18日 議会運営委員会	4日 総務委員会	1日 本会議
19日 建設環境委員会	7日 建設環境委員会	5日 本会議
26日 福祉文教委員会	23日 代表者会議	12日 補正予算特別委員会
	25日 議会運営委員会	13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		19日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 決算特別委員会
		29日 議会運営委員会
6日 代表者会議	8日 本会議	11日 本会議
7日 一般質問	8日 議員提出議案説明、質疑、討論、採決	11日 一般質問
7日 本会議	7日 代表者会議	12日 補正予算特別委員会
	7日 一般質問	13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		19日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 決算特別委員会
		29日 議会運営委員会
		12日 補正予算特別委員会
		13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		19日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 決算特別委員会
		29日 議会運営委員会
		11日 本会議
		12日 補正予算特別委員会
		13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		19日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 決算特別委員会
		29日 議会運営委員会
		11日 本会議
		12日 補正予算特別委員会
		13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		19日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 決算特別委員会
		29日 議会運営委員会
		11日 本会議
		12日 補正予算特別委員会
		13日 総務委員会
		14日 福祉文教委員会
		15日 建設環境委員会
		19日 決算特別委員会
		20日 決算特別委員会
		21日 決算特別委員会
		29日 議会運営委員会

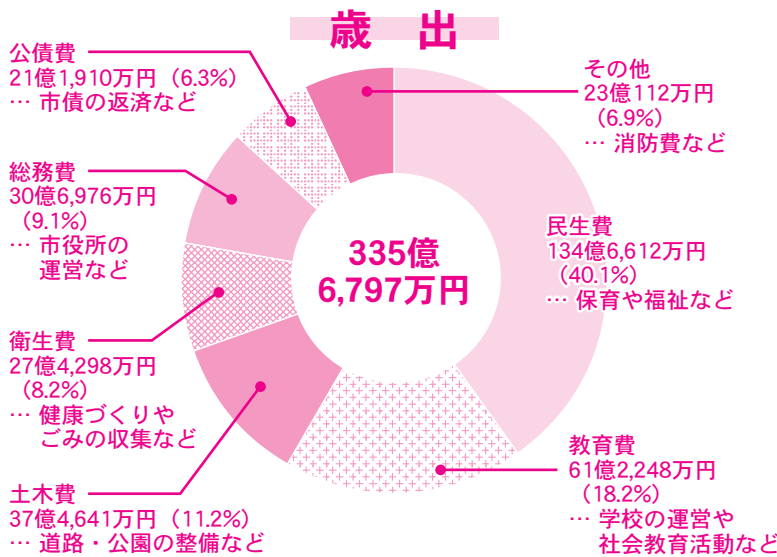
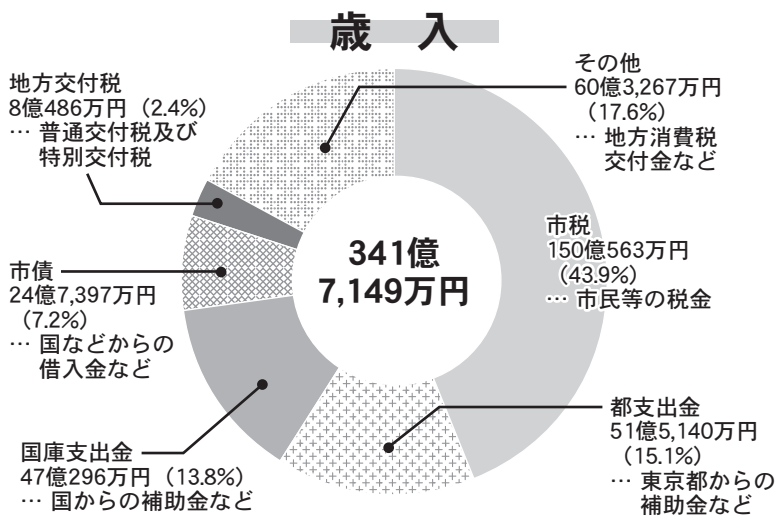
○紙面の紹介

- 定例会の議案内容・・・・・・・・・・・・・2 P
- 常任・議会運営・・・・・・・・・・・・・3 P
- 特別委員会の審査状況・・・・・・・・・・・・・4 P～7 P
- 一般質問(18人)・・・・・・・・・・・・・4 P～7 P
- 議案議決結果(会派別、議員別)、決議・意見書、陳情の結果・・・・・・・・・・・・・8 P

# 平成28年度各会計決算を認定 一般会計歳出総額336億円

市議会は、平成28年度一般・特別・病院事業会計の決算7件を、9月29日の本会議で認定しました。本決算議案は、決算特別委員会に付託し、9月19日・20日・21日の3日間審査しました。一般会計の決算額は、歳入が341億7149万円、歳出が335億6797万円となっています。

## 一般会計決算の内訳



各会計決算額表 (単位：千円)

会計名	歳入	歳出
一般会計	34,171,493	33,567,971
国民健康保険事業特別会計	8,993,503	8,915,018
土地区画整理事業特別会計	2,127,206	2,079,477
下水道事業特別会計	2,154,896	2,113,934
介護保険特別会計	4,333,759	4,056,553
後期高齢者医療特別会計	1,377,160	1,377,160
病院事業会計	7,822,015	7,792,609
合計	60,980,032	59,902,722

※各会計の決算額は千円未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります。

**一般会計歳入  
対前年度比  
1.6%増**

**一般会計歳出  
対前年度比  
1.9%増**

一般財源は対前年度比1.4%の減となりました。内訳は、納税義務者数増などで市税が全体で1.7%増、税目別で個人市民税が2.1%、固定資産税が1.9%、軽自動車税が28.1%、都市計画税が1.2%のそれぞれ増などとなったほか、利子割交付金が72.2%、株式等譲渡所得割交付金が55.7%、地方消費税交付金が9.7%、このほか基準財政収入額の増などにより地方交付税が19.3%のそれぞれ減などとなっています。

特定財源は対前年度比で5.4%の増となりました。内訳は、分担金及び負担金が保育所運営費保護者負担金や被災地派遣職員人件費負担金の増などで6.2%の増、国庫支出金が臨時福祉給付金等国庫補助金や生活保護費負担金の増などで10.0%の増、都支出金が地域密着型サービス等整備助成事業補助金や認知症高齢者グループホーム緊急整備支援事業補助金の増などで6.3%の増、市債が中央公民館ホール大規模改修事業債や第二小学校校舎大規模改修等事業債の増などで5.1%の増などとなったほか、繰入金で財政調整基金・公共施設整備基金繰入金の前年度より4%の減となりました。

義務的経費は4.2%の増となっています。人件費は、一般職給料、期末勤勉手当、再任用職員給料、東京都町村職員共済組合負担金の増などで0.4%の増、扶助費は年金生活者等支援臨時福祉給付金、私立保育所運営委託料、生活保護費、第六保育園指定管理料の増などで5.6%の増、公債費は平成26年度に起債した南山小学校建設事業債の元金償還額の増などで7.4%の増となっています。投資的経費は3.5%の増となっています。普通建設事業費は、補助事業費が稲城第一小学校旧校舎建替等工事請負費、災害時生活用水井戸設置工事請負費の減などで7.5%の減、単独事業費が中央公民館ホール大規模改修工事請負費、稲城市消防出張所新築工事請負費の増などで15.1%の増、その他(都営事業負担金)が南武線連続立体交差事業負担金の減で皆減となっています。

その他経費は1.4%の減となっています。物件費は、稲城第二小学校仮設校舎賃借料、いなぎ発信基地ペアテラス指定管理料、稲城長峰スポーツ広場指定管理料、予防接種委託料の増などで0.5%の増、維持補修費は、橋梁点検業務委託料、緊急補修等工事請負費の増などで49.1%の増、補助費等は多摩川衛生組合塵芥処理負担金、平成26年度臨時福祉給付金国庫補助金返還金の減などで9.8%の減となっています。積立金は緑化推進基金積立金の増などで31.8%の増、繰出金は土地区画整理事業特別会計繰出金、下水道事業特別会計繰出金の減などで0.6%の減となっています。

### 決算特別委員会委員

- 委員長 池田英司
- 副委員長 大久保もりひさ
- 尾沢としあき
- 鈴木誠
- 坂田たけふみ
- 岡田まなぶ
- 荒井健
- 伊藤ちか子
- 村上洋子
- 榎本久春

### 補正予算を可決

平成29年度東京都稲城市一般会計補正予算(第2号)(第3号)、国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)、土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)及び介護保険特別会計補正予算(第1号)を9月29日の本会議で審議し、原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算(第2号)は、歳入歳出予算にそれぞれ4億2,053万3千円を追加し、総額を32億4,321万9千円とするものです。主な内容は、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に伴う経費を計上するものです。事業の財源として、都支出金を計上しています。

一般会計補正予算(第3号)は、歳入歳出予算にそれぞれ4億2,053万3千円を追加し、総額を32億4,321万9千円とするものです。主な内容は、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に伴う経費を計上するものです。事業の財源として、都支出金を計上しています。

### 補正予算特別委員会委員

- 委員長 原島茂
- 副委員長 市瀬ひさ子
- 岩佐ゆきひろ
- 佐々木あきら
- 藤原愛子
- 山岸太一
- 中田中
- つじ寛美
- 渡辺力
- 梶浦みさこ

### 稲城市教育委員の推薦

平成29年12月31日をもって人権擁護委員岸田博三氏の任期が満了することに伴い、引き続き岸田博三氏を候補者として推薦することに9月5日の本会議で同意しました。

### 稲城市教育委員の任命

平成29年9月30日をもって稲城市教育委員会委員小野好江氏・保坂律子氏の任期が満了することに伴い、引き続き小野好江氏と、保坂氏の後任に澁谷香織氏を任命することに9月5日の本会議で同意しました。

### 稲城市市税条例の一部を改正する条例

地方税法及び航空機燃料課税法の一部を改正する法律による地方税法の改正に伴い、稲城市市税条例の一部を改正するものです。これは、地域決定型地方税制特例措置(通称「わがまち特例」)の対象に、家庭的保育事業等の用に

供する固定資産が追加されたこと、また企業主導型保育事業の用に供する固定資産が地方税法で課税標準の特例措置が新たに創設され「わがまち特例」の対象に追加されたことに伴い、これらの資産に係る固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例割合を設定し、文言の整理を行うものなどである。

# 委員会の審査から

平成29年第2回定例会終了後から平成29年第3回定例会までの閉会中及び会期中に開催した常任・議会運営・特別委員会での審査・調査の概要は次のとおりです。

## 総務委員会

議案1件を審査しました。  
稲城市市税条例の一部を改正する条例について、6件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

**問** 軽自動車税の賦課徴収の特例について、対象となった台数と納付不足額は、  
**答** グリーン化特例の50%軽減から25%になったものが23台、25%から軽減なしになったものが48台、計71台で、納付不足額は、19万1700円であるが、三菱自動車工業株から全額納付された。

**問** わがまち特例の対象件数と他市の特例割合は。  
**答** 家庭的保育事業4件が対象となる。特例割合は、3分の1が稲城市も含め7市、2分の1が19市である。

**問** 家庭的保育事業4件について、特例割合を改正することによる市税への影響は。  
**答** 軽減税額は、現行の2分の1では2万1162円、改正後の3分の1では2万8216円となり、7054円の減収となる。ホームページや広報で周知し、子育て支援課と課税課で連携して対応する。

**問** 特定所管事務調査事項として、  
**答** 今回の土地利用について、

**問** 今回、  
**答** 今回、

**問** 今回、  
**答** 今回、

**問** 今回、  
**答** 今回、

のURと市民との話し合いの経過と市としての対応は。

**答** 平成27年6月から三者による話し合いを進め、平成28年5月に、自治会からURと市に対し要望が出された。その後の話し合いで、URは自治会の納得を得たと判断し、平成29年3月に公募をし、4月に譲り受け予定者が決定した。8月に再度自治会から市へ要望書が提出されたので、市は、地域住民の理解が得られてから土地譲渡契約を締結するよう、URに要請した。

**問** 若葉台自治会とは、若葉台地区全体の自治会か。事業者は、若葉台自治会に建築計画の説明をしたのか。  
**答** 若葉台自治会は、4丁目の戸建て住宅を中心とした約320世帯の組織である。事業者は、自治会からの要望で対策委員会への説明を行ってきたっており、全体には説明していないと聞いている。

**問** まちづくりを進める上で、地域住民の意見を尊重することにしている市の姿勢は。  
**答** まちづくりは、市民とともに進めていくということが基本であると認識している。

**問** URの土地の売却等について市としては、住民とUR、事業者で合意に達していなければ、了解しないという立場か。  
**答** URの事業用地の分譲に際しては、地域住民との合意形成を図ることが不可欠であり、市としても、十分協議し理解を得た上で契約を締結

## 建設環境委員会

陳情1件を審査しました。  
「全国に誇る若葉台地区の景観と環境の保全並びに将来の稲城市の高齢者や子育て支援等に向けた若葉台小学校な

**問** 建設環境委員会の審査結果は。  
**答** 建設環境委員会の審査結果は、

**問** 建設環境委員会の審査結果は。  
**答** 建設環境委員会の審査結果は、

**問** 建設環境委員会の審査結果は。  
**答** 建設環境委員会の審査結果は、

**問** 建設環境委員会の審査結果は。  
**答** 建設環境委員会の審査結果は、

**問** 建設環境委員会の審査結果は。  
**答** 建設環境委員会の審査結果は、

してもらいたい。  
討論は、賛成が2件あり、①地域住民の納得がないまま契約が締結されることはあってはならないと思ひ、賛成する。②この建設計画は、当該地区の環境・景観を損ねるもので、まちづくりは、住民との合意形成があつて実現するものであることから、賛成する。というものでした。採決の結果、可決となり、委員長裁決により不採択となりました。

**問** 特定所管事務調査事項として、稲城市路上喫煙の制限に関する条例化にむけての考え方、稲城市の魅力、観光の整備について、調査しました。

**問** 特定所管事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定所管事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定所管事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

## 議会運営委員会

特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

**問** 特定担任事務調査事項として、次定例会等の会期等議会議案の効率化について調査しました。

たことによる。入所については、各認証保育所に任されてはならないと思ひ、賛成する。②この建設計画は、当該地区の環境・景観を損ねるもので、まちづくりは、住民との合意形成があつて実現するものであることから、賛成する。というものでした。採決の結果、可決となり、委員長裁決により不採択となりました。

**問** 平尾地区町界町名地番整理事業支援業務委託の概要と業務内容は。  
**答** 稲城市平尾地区画整理事業の換地処分に合わせて、地番を振り直すもので、登記簿・現地の状況等を確認・調査し、新地番の付番作業を行う。

**問** 平尾地区町界町名地番整理事業支援業務委託について、対象世帯数と説明会で出た意見は。  
**答** 対象は、地区内に居住している419世帯と、土地を所有する75世帯である。説明会では、坂浜平尾線を境に2つに分ける案も出たが、町界町名地番整理審議会から、まちの単位としては小さ過ぎるとの答申をいただいた。

**問** 生活保護費関係の国庫負担金の返還理由は。  
**答** 受給者の伸び率が積算より緩やかだったことと、長期入院や高額の治療費が少なかつたことによる。

**問** 駒沢学園女子高等学校で出前講座を行った。また、校長会を通じて、出前講座を紹介した。  
**答** 駒沢学園女子高等学校で出前講座を行った。また、校長会を通じて、出前講座を紹介した。

## 補正予算特別委員会

議案4件を審査しました。  
平成29年度東京都稲城市一般会計補正予算(第2号)については、9件の質疑があり、主なものは次のとおりです。

**問** 公共施設整備基金の総額はいくらになるか。駐車場の収益との関係は。  
**答** 公共施設整備基金は、7億9882万1千円になり、そのうち、駐車場の収益は、8760万6千円で、公園の駐車場の整備等に充てる。

**問** 東京都認証保育所運営費等補助金に返還金が出た要因は。  
**答** 入所見込み人数に対し、実績が107人少なかつたことによる。返還金は、返還された。

**問** 地域福祉推進区市町村包括補助事業補助金について返還の経緯と理由は。  
**答** 南多摩駅北口駅前広場整備工事で、バス停やタクシー乗り場の屋根とベンチの設置に当該補助金を充てていたが、全体工事費が増額となり、補助対象の占める割合が小さくなつたため返還金が生じた。

**問** 許可業者と新たに契約を結んだ事業所が3件増え、持ち込みのみ量が31トン増加したことによる。  
**問** 橋梁点検業務委託の内容は。結果はどのように活用されるのか。  
**答** 橋梁長寿命化修繕計画の対象である38橋について、部材ごとの目視とハンマーでの点検を行った。結果に基づき、橋ごとに健全度の評価を行い、計画的に橋梁の修繕を実施する。

**問** 平尾近隣公園のバイク侵入防止柵の設置目的と設置後の住民の声は。  
**答** 公園内にバイクを乗り入れ、夜遅くまで騒いだり、トイレのトイレレットペーパーで焚き火をしたりするのを防ぐために設置した。バイクの侵入に関しては成果が出ているが、逆に、人が通りにくいという声もある。

起立全員で、原案のとおり可決されました。  
平成29年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)及び平成29年度東京都稲城市介護保険特別会計補正予算(第1号)は、いずれも質疑、討論はなく、採決の結果、起立全員で、原案のとおり可決されました。

**問** 平成28年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算は、118件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
**問** 市税について、ここ数年の滞納額と滞納者数の推移は。他市との比較は。  
**答** 平成26年度末から平成28年度末まで、滞納額は1億2151万円、滞納者は721人減少している。人口5万人以上10万人未満の9市と比較、平均的な額である。

**問** 公職選挙法改正に伴い、投票率向上のために取り組んだことは。  
**答** 駒沢学園女子高等学校で出前講座を行った。また、校長会を通じて、出前講座を紹介した。

**問** 保育従事職員資格取得支援事業の内容は。申請がなかった理由は。  
**答** 保育所等が、保育士の資格を持たない職員の資格取得費を負担する場合、施設に申し込む必要がある。申請がなかった理由は、

**問** 保育従事職員資格取得支援事業の内容は。申請がなかった理由は。  
**答** 保育所等が、保育士の資格を持たない職員の資格取得費を負担する場合、施設に申し込む必要がある。申請がなかった理由は、

## 決算特別委員会

平成28年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算は、118件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
**問** 市税について、ここ数年の滞納額と滞納者数の推移は。他市との比較は。  
**答** 平成26年度末から平成28年度末まで、滞納額は1億2151万円、滞納者は721人減少している。人口5万人以上10万人未満の9市と比較、平均的な額である。

**問** 公職選挙法改正に伴い、投票率向上のために取り組んだことは。  
**答** 駒沢学園女子高等学校で出前講座を行った。また、校長会を通じて、出前講座を紹介した。

**問** 保育従事職員資格取得支援事業の内容は。申請がなかった理由は。  
**答** 保育所等が、保育士の資格を持たない職員の資格取得費を負担する場合、施設に申し込む必要がある。申請がなかった理由は、

**問** 保育従事職員資格取得支援事業の内容は。申請がなかった理由は。  
**答** 保育所等が、保育士の資格を持たない職員の資格取得費を負担する場合、施設に申し込む必要がある。申請がなかった理由は、

**問** 許可業者と新たに契約を結んだ事業所が3件増え、持ち込みのみ量が31トン増加したことによる。  
**問** 橋梁点検業務委託の内容は。結果はどのように活用されるのか。  
**答** 橋梁長寿命化修繕計画の対象である38橋について、部材ごとの目視とハンマーでの点検を行った。結果に基づき、橋ごとに健全度の評価を行い、計画的に橋梁の修繕を実施する。

**問** 平尾近隣公園のバイク侵入防止柵の設置目的と設置後の住民の声は。  
**答** 公園内にバイクを乗り入れ、夜遅くまで騒いだり、トイレのトイレレットペーパーで焚き火をしたりするのを防ぐために設置した。バイクの侵入に関しては成果が出ているが、逆に、人が通りにくいという声もある。

平成28年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算は、118件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
**問** 市税について、ここ数年の滞納額と滞納者数の推移は。他市との比較は。  
**答** 平成26年度末から平成28年度末まで、滞納額は1億2151万円、滞納者は721人減少している。人口5万人以上10万人未満の9市と比較、平均的な額である。

**問** 公職選挙法改正に伴い、投票率向上のために取り組んだことは。  
**答** 駒沢学園女子高等学校で出前講座を行った。また、校長会を通じて、出前講座を紹介した。

**問** 保育従事職員資格取得支援事業の内容は。申請がなかった理由は。  
**答** 保育所等が、保育士の資格を持たない職員の資格取得費を負担する場合、施設に申し込む必要がある。申請がなかった理由は、

**問** 保育従事職員資格取得支援事業の内容は。申請がなかった理由は。  
**答** 保育所等が、保育士の資格を持たない職員の資格取得費を負担する場合、施設に申し込む必要がある。申請がなかった理由は、

**問** 許可業者と新たに契約を結んだ事業所が3件増え、持ち込みのみ量が31トン増加したことによる。  
**問** 橋梁点検業務委託の内容は。結果はどのように活用されるのか。  
**答** 橋梁長寿命化修繕計画の対象である38橋について、部材ごとの目視とハンマーでの点検を行った。結果に基づき、橋ごとに健全度の評価を行い、計画的に橋梁の修繕を実施する。

## 中央公民館ホール大規模改修工事のため、登録団体がiプラザホールを使用する

平成28年度東京都稲城市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算は、12件の質疑があり、主なものは次のとおりです。  
**問** 診療報酬改定と医師の異動による医療収益の減収はどれくらいか。  
**答** 診療報酬改定では、入院基本料で4700万円の減収が支払うべきものはどのようなものか。回収率は。  
**答** 生活困窮や救急などでお金や保険証を所持していなかったために医療費を支払えなかつたもので、回収率は入院分が89.4%、外来分は79.0%である。

**問** 診療報酬改定と医師の異動による医療収益の減収はどれくらいか。  
**答** 診療報酬改定では、入院基本料で4700万円の減収が支払うべきものはどのようなものか。回収率は。  
**答** 生活困窮や救急などでお金や保険証を所持していなかったために医療費を支払えなかつたもので、回収率は入院分が89.4%、外来分は79.0%である。

**問** 診療報酬改定と医師の異動による医療収益の減収はどれくらいか。  
**答** 診療報酬改定では、入院基本料で4700万円の減収が支払うべきものはどのようなものか。回収率は。  
**答** 生活困窮や救急などでお金や保険証を所持していなかったために医療費を支払えなかつたもので、回収率は入院分が89.4%、外来分は79.0%である。

**問** 診療報酬改定と医師の異動による医療収益の減収はどれくらいか。  
**答** 診療報酬改定では、入院基本料で4700万円の減収が支払うべきものはどのようなものか。回収率は。  
**答** 生活困窮や救急などでお金や保険証を所持していなかったために医療費を支払えなかつたもので、回収率は入院分が89.4%、外来分は79.0%である。

**問** 診療報酬改定と医師の異動による医療収益の減収はどれくらいか。  
**答** 診療報酬改定では、入院基本料で4700万円の減収が支払うべきものはどのようなものか。回収率は。  
**答** 生活困窮や救急などでお金や保険証を所持していなかったために医療費を支払えなかつたもので、回収率は入院分が89.4%、外来分は79.0%である。

**問** 診療報酬改定と医師の異動による医療収益の減収はどれくらいか。  
**答** 診療報酬改定では、入院基本料で4700万円の減収が支払うべきものはどのようなものか。回収率は。  
**答** 生活困窮や救急などでお金や保険証を所持していなかったために医療費を支払えなかつたもので、回収率は入院分が89.4%、外来分は79.0%である。

# 市民生活の向上めざし一般質問

本定例会の9月6日から4日間にわたり、18人の議員が市政について92項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。

**自然環境保全緑化推進事業の充実と苗木配布等による緑化空間のさらなる創造について**



梶浦議員

**問** 緑の基本計画の16項目や事業評価などについての審議の状況は。

**答** 平成28年度末の評価は現在集計中である。平成27年度末の状況については、重点施策1、「緑の環」の保全活用プロジェクトの2項目は、自然環境保全地域の指定・拡充、実施継続中、評価できる。樹林地管理ボランティアの人材育成・組織化・活動支援、未実施、評価できない。重点施策2、身近な緑の拠点づくりプロジェクトの6項目は、生態系や親水性に配慮した水辺空間の整備、一部完了、評価できる。次に既成市街地での適切な公園配置方針の策定検討中、やや評価できる。次に借地公園制度の運用検討、

実施継続中、評価できる。身近な公園の再整備、実施継続中、評価できる。公園施設の緑化、実施継続中、評価できる。自然樹形を感じさせる維持管理の検討、実施継続中、やや評価できるなどである。

**問** 昭和50年に穴澤天神社を社寺林に初指定以来多くの個所を自然環境保全地域に指定してきているが、今年度新たに指定した個所と、指定解除になった地域の有無は。

**答** 平成29年4月1日に百村205番地先の六間台南側を指定した。面積は、3926㎡で、指定期間は10年である。また、指定が解除となったものは現在まで無い。

**問** 保存樹木指定の補助金等の充実と推進については。

**答** 現在、樹木1本あたり一律2千円補助している。今後、近隣自治体の事例も調査・研究し、緑化推進基金の活用も視野に入れ、稲城市自然環境保全審議会の意見を伺っていききたい。また、指定基準を満たす樹木の調査を実施し、稲城市自然環境保全審議会の意見を伺い推進したい。

(その他、稲城市役所放火事件を踏まえた危機管理としての悪質クレーム対策と窓口等での市民対応の接遇の向上、公園利用禁止事項のスケートボードによる若葉台公園の利用状況とその改善)

**子ども・子育て支援事業計画と子育て支援について**



山岸議員

**問** 稲城市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて第2回定例会で表明されたが、見直しの中身や市の子育て支援策が保護者や保育関係者の願いを反映したものであることを求める立場から質問する。この間の都との交渉状況は。

**答** 平成29年5月29日付で、市長から都福祉保健局長あてに「所有地等借受申請書」を提出し、平成29年7月19日付で、都福祉保健局長から市長あての「福祉インフラ整備事業に係る所有地等の貸付けについて」で所有地の貸付決定を受けている。

**問** 平成29年3月30日付で、市から都に要望書が出されているが、保育園の利用規模は。また、第四保育園と第六保育園の今後の取り扱いは、現時点で決定したのかどうか。平成29年5月16日付で、所有地活用スケジュールが出されているが、現時点までの進捗状況は。

**答** 平成29年3月30日付要望に記載の利用規模は、2

20人程度となっている。また、第四保育園と第六保育園の今後の取り扱いについては、現時点では決定していない。所有地活用については、現在、スケジュールどおり進捗している。

**問** 新しい保育園の規模は、220人ということだが、当初は300人規模という案もあって、これはちよつとありえない規模との声も出ているが、第四保育園と第六保育園の今後についてどうするのか、新設園の基本的な計画に

**答** 第六保育園については、今後、さまざまな事情を勘案し、現在の場所での存続も含め、検討を進める。(その他、第六期介護保険事業計画、第七期介護保険事業計画、雨水排水対策)

**少人数学級の拡充について**



岡田議員

**問** 少人数学級は、学習面、生活面ともに子どもたちをきめ細かく丁寧に見ることができ、制度であるが、少人数(35人以下)学級の実施学年および小学校の3、6年生、中学校2・3年生の35人以下の学級数と割合、36人以上の学級数と割合は。

**答** 市では、学級編制基準により小学校第1学年、第2学年及び中学校第1学年については35人以下の学級編制を行っている。学級数と割合については、小学校第3学年では、28学級中、35人以下は18学級で64・3%、36人以上は10学級で35・7%である。小学校第4学年では、31学級中、35人以下は27学級で87・1%、36人以上は4学級で12・9%

**問** 少人数学級を小中学校の全学年に拡充すべきと考えるが認識は。

**答** 少人数学級の小中学校全学年への拡充については、必要となる教室の確保や教員の独自採用、財源の問題などの課題がある。今後は国や都の動向を踏まえて対応したい。

関わってくると思う。第六保育園については、送り迎えの利便性、また民間園としての事業の継続性を踏まえると、建物の耐震改修後も現在の場所を継続するべきと考えるが、認識は。

**問** 第六保育園については、今後、さまざまな事情を勘案し、現在の場所での存続も含め、検討を進める。(その他、第六期介護保険事業計画、第七期介護保険事業計画、雨水排水対策)

**答** 小学校第5学年では、29学級中、35人以下は25学級で86・2%、36人以上は4学級で13・8%である。小学校第6学年では、28学級中、35人以下は17学級で60・7%、36人以上は11学級で39・3%である。中学校第2学年では、21学級中、35人以下は11学級で52・4%、36人以上は10学級で47・6%である。中学校第3学年では、22学級中、35人以下は14学級で63・6%、36人以上は8学級で36・4%である。

**稲城市の防災に関する市の取り組みについて**



鈴木議員

**問** 一週間以上の避難生活を余儀なくされた場合の避難生活者らの洗濯、入浴等についての市の考えは。

**答** 長期化した場合の対応は、各避難所に整備している生活用水井戸を活用し、体を拭いたり、洗濯などができるものとしている。また、入浴は、自衛隊の災害支援や、災害時における入浴施設の供用に関する協定を(株)よみうりランド及び稲城浴場と締結している。

**問** 代替避難所である場合、長期化はその避難先関係者学校や自治会などとの摩擦も

要望している。今後も引き続き要望していく。(その他、認可保育園の待機児解消、子どもの貧困対策、

小中学校のトイレの洋式化等、iバス・路線バスの充実、核兵器禁止条約)

**問** 三沢川河川整備計画について、川崎市麻生区黒川部分までの護岸接合は、多3・4・17号線の開通に併せて実施する必要が有ると考えられるが、現状の学園通りの三沢川越えが仮設橋であることを含めての見解は。

**答** 都の三沢川改修計画の「川崎市麻生区黒川から新きさらぎ橋上流の区間内」である、多3・4・17号線周辺の護岸改修計画は、平成30年以降に順次整備する計画があると都から聞いている。学園通りの三沢川に架かる無名1号橋は、大型車両も通行でき、



熱心に授業を受ける子どもたち (平尾小学校)



昭和50年に自然環境保全地域に指定された「穴澤天神社」(矢野口)

くるよう補強が施され、平成23年度と平成28年度に実施した橋梁点検では、橋の機能に支障はないという結果が出ている。また、平成27年度には橋の東側に転落防止柵を増設した。この無名1号橋は、三沢川の改修工事に併せて、橋の架け替えが予定されていると、都から聞いている。

(その他、介護士・保育士等の確保・定着、日常の市民対応と各種行事開催、「居住地」から「故郷」に変える取り組み)

**性の多様性を認め合う施策の推進について**



村上議員

**問** 市立病院における、性の多様性に配慮する対応の現状と課題を伺う。性的指向や性自認が非典型であると、医療機関の受診がためらわれたり、十分な治療を受けることが出来ないことがある。人が生きていくための必須のインフラである医療における困難は、時として、生命・身体に深刻な影響を及ぼすことにもなりかねない。性の多様性に配慮し、安心して受診できる医療体制の整備は非常に重要な課題と言える。当市には市立病院があるため、性の多様性に配慮した対応を整える必要がある。まず最初の困難は、受付周辺である。受診における最初のハードルである受付では、呼び出しや受診相談などにどのような配慮がされて

いるか、また、その他の配慮については。

**答** 呼び出しでは、患者の希望に応じて、受付票に記載された番号でお呼びしたり、例えば外見と性別が一致しないと判断される場合では、患者と話しただ上で、苗字のみでお呼びするなど、配慮に努めている。また、受診相談では、医事課の患者相談窓口において、看護師やメディカルソーシャルワーカーが対応するなど、患者の希望に合わせた配慮に努めている。

**問** 入院時の病室、トイレ、入浴、入院着等の配慮については。

**答** 病室は、個室対応として配慮する。トイレ・入浴については個室のため性別に係なく利用できる。入院着等は、当院の指定はなく、患者の持ち込みも可能なため、特定の配慮はしていない。

**来年度予算により市民の声を反映することについて**



荒井議員

**問** より市民の声を生かした予算編成をすることについては。

**答** 各担当課において、議会、各種団体及び市民の皆様からの意見や要望を聞いた上で提出された予算要求書をもとに、財政課ヒアリング、予算編成政策会議にて、毎年度予算化を行っている。

**問** 予算要望を聞くためのタウンミーティングを開催することについては。

**答** 平成29年度のタウンミーティングは、なるべく多くの方に参加していただけるよう、新たな計画をしている。



タウンミーティングの様子

あらかじめ興味や関心のあるテーマを伺った上で実施するとともに、様々な要望などについても聞き取りしていきたい。

**問** 地域ごとの予算要望を聞くためのタウンミーティングは開かないということか。

(その他、市の情報コーナーの拡充、子どもたちの遊び場の確保、稲城市の文化財の管理と活用)

**「保育所待機児童対策強化」と「保育の質の維持・向上」の両立について**



大久保議員

**問** 保育所の開設や定員の弾力化などにより保育所の定員の着実な拡大を図り、新たな認可保育所開設を計画していることを評価するが、保育の急激な量の拡大は質の低下につながる心配がある。乳幼児の偏在の現状や今後の若い世帯の増加の想定から、矢野口地区、東長沼地区への新たな認可保育所開設について検討するべきでは。

**答** 今後、子ども・子育て支援事業計画の見直しの中で、しっかりと検討し、待機児童解消を図れるよう、対策を講じていく。

**問** 急激な認可保育園の開園や定員の弾力化による保育の質の低下への懸念を払しょくし、保育の質の維持・向上を図るために、私立認可保育所への監査や運営指導を行うとともに、施設の情報を開示し、第三者評価を義務付ける必要があるのでは。

**答** 私立認可保育所への指導監査、施設情報の開示、第三者評価は実施している。

**問** 世田谷区の私立認可保育所等への巡回指導相談を視察した。世田谷区では、私立認可保育所を一気に増やしたことから、看護師や保育士、栄養士などの専門職員チームが年3回の頻度で巡回指導相談を行い、私立認可保育所の

**安全で快適な「街路樹プラン」の策定推進について**



尾沢議員

589本、サザンカが1562本、その他の街路樹は2472本で、合計7671本である。

**問** 平尾中央通り、平尾外通り、いちよう並木通り、三沢川さくら通り、城山通り、若葉中央通りの植栽経過年数については。

**答** 平尾中央通り及び平尾外通りのケヤキは46年、いちよう並木通りのイチヨウは23年から45年、三沢川さくら通りの桜は8年から34年、城山通りのユリノキは29年、若葉中央通りのケヤキは20年、植栽から経過している。

**問** 平尾中央通りや平尾外通りのケヤキが最も古く、植栽から46年の経過ということであるが、根上がり、信号機の視認低下等のご相談をよくお受けする。前回の第2回定例会で、「平尾地区全体としてどうあるべきか、住民の皆さんのご意見やご要望を確かめること」から始めていく」との答弁があったが、そ



冬眠していた亀が元気でいたか覗き込んでいる園児(第三保育園)

指導相談の仕組みを検討するべきでは。

**答** 専門職による巡回指導相談は、子育て支援コーディネーターが行っている。今後は、先進自治体の例などをまづ研究する。

(その他、森林の適切な間伐等による斜面崩壊防止機能強化、分かりやすい文書の作成と事務手続き等の負担軽減、乳幼児期における障がいのある子どもへの早期療育、特別支援教室「すまいるルーム」と固定型の自閉症・情緒障がい学級設置、学校図書活用教育の拡充、小・中学校の特別教室へのエアコン設置)

**待機児童解消に向けた保育士の確保について**



榎本議員

**問** 今後の保育ニーズの状況からも、待機児童解消に向けた対応が必要なのは明確であるが、認可保育所を新設できても、保育士が確保でき

くまなければ、保育所の開設延期、受入定員の削減といった事態にもなりかねない。保育の質を高めるためにも、安定的な保育士の確保は大変重要である。処遇改善や財政支援など、国や都に強く求めていくことも必要ではあるが、保育士確保に向けては、独自の処遇改善も必要と考える。保育士確保に向けた、今後の取り組みについては。

**問** 国や都の動向を注視しながら、引き続き処遇改善等を行い、保育士確保に取り組みたい。

**問** 保育士確保については、以前から潜在保育士の掘り起こしが重要であると言われる。厚生労働省は、保育士の就業継続支援策として、未就学児を持つ保育士の支援を発表しており、このような支援は、保育士確保に効果があると考えるが、市の見解は。

**答** 潜在的保育士の掘り起こしについては、保育士からの紹介から就労につながったなどの例がある。未就学児を抱える保育士に対する支援としては、保育士として復帰する場合に、保育所等の利用における基準指数を2点加算する対策を講じている。

**問** 都では、幼稚園や小学校の教諭などを保育士としてみなす、保育所における保育者配置の特例が実施できるようにしているが、こうした教諭の活用について、市の見解は。

**答** 都では、当分の間、保育士とみなし保育に従事する際は原則として、幼稚園教諭は3歳以上、小学校教諭は5歳以上を対象としている。まずは保育士の確保を最優先に、

今後の状況を見て判断していく。

(その他、地域コミュニティの中核である自治会の重要性、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための高齢者見守りネットワーク)

**乳がん検診について**



伊藤議員

**問** 厚労省は、がんのうつりづらさ、高濃度乳房の女性への検診結果の通知体制を整備することで、見落としリスクを回避すべく各自治体に促すとしている。一方、年代の違いを考慮した、複数の方法での検診が効果的と考えられる。これらの検診や通知のあり方について、市の考えは。

**答** 現在、厚生労働省及び厚生労働省の有識者検討会において、高濃度乳房に対して高い感度で実施できる検査方法のあり方や、高濃度乳房の判定基準の必要性、市町村が受診者本人へ通知する場合の標準的な内容などについて、課題の整理と協議が継続されていることから、国の動向を注視し、適切に対応していく。

**問** 川崎市では、乳がん検診結果表に、乳腺の評価が不均一高濃度や高濃度の方は、乳がんがわかりにくい傾向にあることなどを記載し、通知することとした。また、年代によりマンモグラフィと超音波検査の使い分けが効果的との資料もある。これらのこ

とについて、市の考えは。高濃度乳房を正しく理解できるように、通知の標準的な内容を、厚生労働省が市町村に提示する方針のため、動向を注視し、適切に対応する。(その他、高齢者の肺炎球菌感染症に対する定期予防接種、食育推進計画、感震ブレイカー、国民健康保険の都道府県移行、市営プールの利便性向上、プレジジョン・メディスン(精密医療)への対応、子育て、孫育て、受動喫煙防止、世田谷区の「ペット条例」、高額滞納債権並びに市税回収業務、タブレット型パソコンの導入、「中学生期のスポーツ活動指針」、特別支援学校の指導要領の改訂、コミュニティ・スクール、学習状況調査結果の扱い、避難所運営マニュアルの作成、小・中学校連携の日常化で学力向上に繋げること、保育室の音環境基準、ICT機器の活用、新学習指導要領の実施に向けた施設面での対応、交通不便地区のワゴン車等運行実験)

**交差点における交通安全対策について**



池田議員

**問** 市内には、道路の幅、歩道の有無、公道や私道など、さまざまな形態・種別の道路が存在し、各所に交差点がある。また、道路などの基盤整備や宅地開発等に伴い、新たな交差点が増えている状況もある。これらの交差点の中に

は、見通しの悪い場所も見受けられ、危険なのでカーブミラーを設置してほしい、という声をたくさん聞く。カーブミラーの設置対象個所については。

**答** カーブミラーの設置対象個所については、市としての設置基準などは設けていないが、市民要望があった個所、見通し距離が確保できない個所、代替手段がない場合など、現場を確認した上で、総合的に判断して設置している。

**問** 交差点における交通安全対策として、カーブミラーの特性に関する市民への周知については。

**答** カーブミラーの特性については、鏡としての性質上、左右が逆になり、誤認を招きやすく、また鏡面にうつる車は小さく見えるため、距離感や速度感をつかみづらいため、その鏡面にうつるものには必ず死角が生じる、という特性がある。このようなカーブミラーの特性については、これまで通学路点検やカーブミラーの設置要望の現場立ち会いの際などに説明を行い、周知している。

**問** カーブミラーには必ず死角が生まれるということからカーブミラーの特性について、さらなる周知が必要だと考えている。今後、市民の皆様にもどのような方法で周知を図っていくのか。

**答** カーブミラーに関する特性の周知については、ホームページなどの活用や、交通安全講習会などの機会において周知を図るなど、今後、検討していきたい。(その他、生物多様性の周知・啓発、体育施設における洋式

トイレ設置状況、学校体育館における冷房設備の設置、稲城市契約旅館利用助成制度の拡大)

**生産緑地について**



坂田議員

**問** 生産緑地については、平成27年4月に都市農業振興基本法が制定され、同法を受けた都市農業振興基本計画(平成28年5月閣議決定)において、都市農地の位置づけが、宅地化すべきもの「から」あるべきもの「へと大きく変換された。平成29年6月15日に都市緑地法等の一部を改正する法律が施行され、都市公園の再生・活性化、緑地・広場の創出、都市農地の保全・活用についての動きがあったところである。そこで、生産緑地法の一部改正の概要について

**答** 生産緑地法の一部改正の概要については、1点目に生産緑地の指定下限面積の緩和、2点目に一団性要件の緩和、3点目に生産緑地地区内における建築規制の緩和、4点目に特定生産緑地制度の創設、5点目に新たな用途地域として田園住居地域の創設がある。なお、施行時期については、1点目から3点目については平成29年6月15日に施行されており、4点目と5点目については平成30年4月1日に施行される。

**問** 生産緑地の指定下限面積の緩和については、過日、稲城市農業委員会及び稲城市都市農政推進協議会より、指定下限面積の引き下げに関する要望書をいただいている。市では、現在都市農地を計画的に保全するため、生産緑地の指定下限面積緩和の検討を進めている。

**問** 近隣市の状況については。

**答** 近隣市についても、生産緑地の指定下限面積の緩和を検討しており、多くの自治体が条例で定めることができる下限面積の300㎡にする予定であると都から聞いています。(その他、「特定外来生物」への対応、指定無形民俗文化財等の伝統的な行事の存続、障害者への就労支援や取り組み)

積の緩和について、今後の市の取り組みは。生産緑地の指定下限面積の緩和については、過日、稲城市農業委員会及び稲城市都市農政推進協議会より、指定下限面積の引き下げに関する要望書をいただいている。市では、現在都市農地を計画的に保全するため、生産緑地の指定下限面積緩和の検討を進めている。

**問** 近隣市の状況については。

**答** 近隣市についても、生産緑地の指定下限面積の緩和を検討しており、多くの自治体が条例で定めることができる下限面積の300㎡にする予定であると都から聞いています。(その他、「特定外来生物」への対応、指定無形民俗文化財等の伝統的な行事の存続、障害者への就労支援や取り組み)

**問** 昨年9月以降、どのような新メニューが何品目ぐらい開発できたのか、新メニューの開発にはどれくらいの手間暇がかかるのか、また開発時にはどんな点に苦労したのかについてを伺う。

**答** アレルゲンフリーの新メニューについては、牛乳の代わりに豆乳、小麦粉の代わりに米粉、バターの代わりに米油を使った豆乳コーンクリームスープや米粉コーンシチュー、豆乳クリームスパゲティ、衣に卵と小麦粉を使わず米粉を使ったチクワの米粉磯辺あげ、とろみづけに使う小麦粉を米粉に代えたチリコンカン、チリビーンズライス、ミートソース、豚肉とシメジのトマトソース、キノコのミルックスープがある。また、新メニューの開発については、コクや食味が欠ける場合、また仕上げがイメージどおりにいかない場合、食材や調理方法の工夫でどうやって補うか、試食を重ねながら進めている。

**問** 学校給食での取り組みに対して、保護者や学校はどのような受けとめ方をしているのか。

**答** 保護者からは、アレルゲン詳細献立表の改善によりアレルゲンの確認がしやすくなった、そして使用食材や調理方法の工夫などにより、他の児童・生徒と同じ給食を食べられる回数が増えたと評価をいただいている。また、学校からは、担任教諭を始めとする学校関係者の負担の軽減にもなっていると聞いている。(その他、熊本地震における教訓を踏まえた震災対策の強化、稲城市におけるプログラ

積の緩和について、今後の市の取り組みは。生産緑地の指定下限面積の緩和については、過日、稲城市農業委員会及び稲城市都市農政推進協議会より、指定下限面積の引き下げに関する要望書をいただいている。市では、現在都市農地を計画的に保全するため、生産緑地の指定下限面積緩和の検討を進めている。

**問** 昨年9月以降、どのような新メニューが何品目ぐらい開発できたのか、新メニューの開発にはどれくらいの手間暇がかかるのか、また開発時にはどんな点に苦労したのかについてを伺う。

**答** アレルゲンフリーの新メニューについては、牛乳の代わりに豆乳、小麦粉の代わりに米粉、バターの代わりに米油を使った豆乳コーンクリームスープや米粉コーンシチュー、豆乳クリームスパゲティ、衣に卵と小麦粉を使わず米粉を使ったチクワの米粉磯辺あげ、とろみづけに使う小麦粉を米粉に代えたチリコンカン、チリビーンズライス、ミートソース、豚肉とシメジのトマトソース、キノコのミルックスープがある。また、新メニューの開発については、コクや食味が欠ける場合、また仕上げがイメージどおりにいかない場合、食材や調理方法の工夫でどうやって補うか、試食を重ねながら進めている。

**問** 学校給食での取り組みに対して、保護者や学校はどのような受けとめ方をしているのか。

**答** 保護者からは、アレルゲン詳細献立表の改善によりアレルゲンの確認がしやすくなった、そして使用食材や調理方法の工夫などにより、他の児童・生徒と同じ給食を食べられる回数が増えたと評価をいただいている。また、学校からは、担任教諭を始めとする学校関係者の負担の軽減にもなっていると聞いている。(その他、熊本地震における教訓を踏まえた震災対策の強化、稲城市におけるプログラ

**問** 直近1年間の学校給食におけるアレルギー対応の取り組みについては。

**答** 小麦粉や牛乳の代わりに米粉・豆乳を使ったアレルゲンフリーの新メニューの開発や、バター・チーズなどの使用頻度の見直しなどにより、食物アレルギーを持つ児童・生徒が給食を食べられる回数が多くなるよう努めてきた。

**問** 中央図書館前の歩道に点字ブロックがないため、公共施設前には設置してほしいとの要望があった。周辺の駅やバス停などから公共施設まで、視覚障害者の方が安心して歩くことができるよう設置の検討を願うが、市の見解は。

**問** 中央図書館前の歩道に点字ブロックがないため、公共施設前には設置してほしいとの要望があった。周辺の駅やバス停などから公共施設まで、視覚障害者の方が安心して歩くことができるよう設置の検討を願うが、市の見解は。

**答** 点字ブロックなどの設置については、東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルで、視覚障害者が多く利用する道路やよく使用する施設と駅・バス停等を結ぶ道路の歩道上には重点的に整備することとしており、市では福祉センター周辺や、南多摩駅改札口から市立病院に至る一部区間、整備完了した市、

**問** 若葉台駅周辺の点字ブロックは、色彩が淡い小豆色となっていて、わかりづらい。弱視者にとっては、色が危険を回避できる手段とも言われている。また高齢者にとっても、はっきりわからないと、転倒事故にもつながる。今後の対策は。

**答** 若葉台駅周辺の点字ブロックなどにおいては、周囲の路面の色彩と類似していることから、路面と点字ブロックなどの輝度比を確保できるように、適切な色彩を検討した上で着色を行うなどの対応をしていきたい。

**問** 中央図書館前の歩道に点字ブロックがないため、公共施設前には設置してほしいとの要望があった。周辺の駅やバス停などから公共施設まで、視覚障害者の方が安心して歩くことができるよう設置の検討を願うが、市の見解は。

**答** 点字ブロックなどの設置については、東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルで、視覚障害者が多く利用する道路やよく使用する施設と駅・バス停等を結ぶ道路の歩道上には重点的に整備することとしており、市では福祉センター周辺や、南多摩駅改札口から市立病院に至る一部区間、整備完了した市、

**問** 若葉台駅周辺の点字ブロックは、色彩が淡い小豆色となっていて、わかりづらい。弱視者にとっては、色が危険を回避できる手段とも言われている。また高齢者にとっても、はっきりわからないと、転倒事故にもつながる。今後の対策は。

**歩道の点字ブロックの更なる推進について**



つじ議員

**問** 若葉台駅周辺の点字ブロックは、色彩が淡い小豆色となっていて、わかりづらい。弱視者にとっては、色が危険を回避できる手段とも言われている。また高齢者にとっても、はっきりわからないと、転倒事故にもつながる。今後の対策は。

**答** 若葉台駅周辺の点字ブロックなどにおいては、周囲の路面の色彩と類似していることから、路面と点字ブロックなどの輝度比を確保できるように、適切な色彩を検討した上で着色を行うなどの対応をしていきたい。

**問** 中央図書館前の歩道に点字ブロックがないため、公共施設前には設置してほしいとの要望があった。周辺の駅やバス停などから公共施設まで、視覚障害者の方が安心して歩くことができるよう設置の検討を願うが、市の見解は。

**答** 点字ブロックなどの設置については、東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアルで、視覚障害者が多く利用する道路やよく使用する施設と駅・バス停等を結ぶ道路の歩道上には重点的に整備することとしており、市では福祉センター周辺や、南多摩駅改札口から市立病院に至る一部区間、整備完了した市、

**問** 若葉台駅周辺の点字ブロックは、色彩が淡い小豆色となっていて、わかりづらい。弱視者にとっては、色が危険を回避できる手段とも言われている。また高齢者にとっても、はっきりわからないと、転倒事故にもつながる。今後の対策は。

**答** 若葉台駅周辺の点字ブロックなどにおいては、周囲の路面の色彩と類似していることから、路面と点字ブロックなどの輝度比を確保できるように、適切な色彩を検討した上で着色を行うなどの対応をしていきたい。

内各駅の改札口からバス停までの区間に設置している。今後も関係部署や稲城市身体障害者協会などのご意見を伺って利用の多い施設や道路を把握し、点字ブロックなどの設置を検討していきたい。

**問** 点字ブロックの色彩について、市の見解は。

**答** 点字ブロックなどの色彩については、東京都福祉まちづくり条例施行規則に基づ



若葉台駅周辺の点字ブロック

き、黄色を原則とし、周辺の舗装の色に合わせて、輝度比が確保できる適切な色を選択し、設置していきたい。（その他、わんわんパトロールの防犯活動の実施、無年金者救済法の推進、青少年育成地区委員会の周知、サイクル利用の推進、ゾーン30の規制強化、未来ある子どもを守り育てること）

知に対する市の考えは。  
**答** 市が実施する両親学級など、さまざまな機会を捉えて、このスクリーニング検査の周知に努めていきたい。

**問** 市では、早期療育につながる補聴器購入の支援を行っていることから、さらに検査の公費負担を行うことは、保護者への負担軽減となり、受診率の向上にもつながると考えるが、市の考えは。

**答** 聴覚障害は、子供の認知力や言語力発達への影響が大きいと考えられていることから、新生児期に聴覚スクリーニング検査を受診し、早期に療育を開始することは有効であると認識している。一方、公費負担については東京都26市及び23区の健康所管課長会において、公費助成導入に関して受診状況等の実態調査や課題の把握を始めたところであり、今後の調査結果や市民ニーズの動向などを注視していきたい。

（その他、人もまちも元気にする健康づくりの取り組み、持続可能な資源利用の取り組み）

**問** 子供に対する性犯罪は、その健やかな成長を阻害し、家族はもとより、地域社会にも重大な影響を及ぼすこととなる。その対策は、警察のみならず、行政においても重要な策定、セーフティー教室を年1回以上実施し、安全指導として月1回、各校の教職員が生徒に対して犯罪に関する知識や対応などを身につける指導などを実施しており、小学校においては、スクールガードリーダーを配置し、各校を巡回している。昨年度より防犯ボランティアの個人登録制度を開始するとともに、年2回の市内一斉防犯パトロールの拠点会場数を2カ所増やし、7カ所とすることにより、防犯ボランティアへの参加の裾野を広げ、防犯強化を行っている。

（その他、児童虐待防止、小中学校における不登校対策）

**新生児聴覚検査の実施に向けた取り組みの促進について**



市瀬議員

**問** 睡眠中に行う新生児聴覚スクリーニング検査は、成長するにつれ、目を覚ましやすくなり、検査が難しくなるため、出生後、入院中の検査を推奨すること、先天性難聴は1千人に1人か2人という比較的高い率で出現するとも言われていることから、新生

児聴覚スクリーニング検査の重要性を保護者にしっかりと伝えることが大切であると考え、さらなる周知に努めていきたい。

**問** 新生児聴覚スクリーニング検査が安全なこと、全ての新生児に実施する必要性を保護者に伝えることが大切であると考え、さらなる周知に努めていきたい。

**問** 子供に対する性犯罪は、その健やかな成長を阻害し、家族はもとより、地域社会にも重大な影響を及ぼすこととなる。その対策は、警察のみならず、行政においても重要な

**問** 性犯罪の被害から子供を守る取り組みについて

**問** 性犯罪の被害から子供を守る取り組みを強化すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 性犯罪に限らず、子供を守る取り組みでは、市や防犯ボランティア団体が行う青パトロール車などによる巡回、防犯カメラの設置やあいさつ運動、「子ども110番の家」の設置、不審者情報のメール配信等を実施するとともに、夜道の安全対策として、必要

**問** 子供に対する性犯罪は、その健やかな成長を阻害し、家族はもとより、地域社会にも重大な影響を及ぼすこととなる。その対策は、警察のみならず、行政においても重要な

**性犯罪の被害から子供を守る取り組みについて**



佐々木議員

**問** 性犯罪の被害から子供を守る取り組みを強化すべきと考えるが、市の見解は。

**答** 性犯罪に限らず、子供を守る取り組みでは、市や防犯ボランティア団体が行う青パトロール車などによる巡回、防犯カメラの設置やあいさつ運動、「子ども110番の家」の設置、不審者情報のメール配信等を実施するとともに、夜道の安全対策として、必要

**問** 児童クラブの保留児解消について

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。



市内一斉防犯パトロール（南多摩駅：7月19日）

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**問** 児童と仕事の両立には、子供が小学校に入学・進学する当初の時点で、希望する児童クラブに入所できることが望まれる。市内のどの地区においても児童が児童クラブに入所できるよう、保留児解消にさらに努力すべきと考える。

**向陽台小学校前のバス停の屋根の設置について**



岩佐議員

**問** 向陽台バス停（向陽台小学校側）は、近くに子ども家庭支援センターがあることもあり、妊婦の方や小さい子供がいる家庭の方もよく利用されており、屋根の設置を求め、現在までの市の対応については。

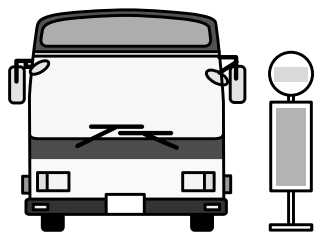
**答** 平成29年7月10日に開催した、稲城市地域公共交通協議の部会であるバス事業者検討会にて、バス事業者に対してバス停の屋根の設置を要請しているが、バス停の利用人数や、設置・管理費用などを総合的に勘案したところ、設置は難しいとの回答であった。

**問** 例えば、向陽台バス停（向陽台小学校側）に、屋根を設置する場合、設置費用と

**答** 路線バス事業者がバス停の屋根をつくることについての考え方は理解したが、バス停を利用するにはそれぞれの事情があり、バス停の利用人数などによってバス停の屋根の設置が決まってしまうのは、非常に残念に感じる。向陽台バス停（向陽台小学校側）は、周りに住宅が少ないことから、利用者自体は多くないが、利用にあたっては、妊婦の方や子供連れの方、ベビーカーを利用する方がバスを待っているという特殊な事情があることから、バス事業者に対して、特に要請できないのか。

**答** バス事業者検討会において、向陽台バス停の特殊事情を説明し、改めて上屋設置の要請することは可能であるため、今後、要請していきたい。

（その他、熱中症対策、城山公園ステージの利用、認可保育所の待機児の問題、南山地区の集いの場、Jアラートの訓練）



平成29年第3回定例会での審議結果（平成29年9月1日～9月29日）

Table with columns for Member Name, Proposal Name, Decision Result, and Party Affiliation. Rows include various budgetary and administrative proposals.

（稲城市議会議員 条例定数22人 現員22人）

○=可決 否=否決 同=同意 認=認定 ○=賛成 ×=反対 議=議長 欠=欠席

決議・意見書

市議会は第3回定例会の9月8日の本会議で、議員から提出された決議・意見書を審議し、原案のとおり可決いたしました。可決した意見書は...

北朝鮮のミサイル発射に続き核実験を強行したことに対する意見書

北朝鮮は、8月29日の弾道ミサイル発射に続き9月3日に核実験を強行した。今回の実験は、国際社会の度重なる強い抗議・警告を完全に無視するだけでなく、わが国を含むアジア太平洋地域及び国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、重大かつ差し迫った新たな段階の脅威である。到底受け入れることはできない。また、先般採択された国連安保理決議第2371号をはじめ累次の安保理決議に明白に違反するとともに、日朝平壤宣言にも違反し、六者会合共同声明の趣旨にも反する。さらには、核兵器不拡散条約（NPT）を中心とする国際的な軍縮不拡散体制に対する重大な挑戦でもある。国際社会が繰り返し強く非難していることを踏まえ、北朝鮮は国際社会の声を真摯に受け止め、累次の安保理決議を厳格かつ全面的に履行すべきであり、一層孤立を深める愚かな行為は自制すべきである。稲城市議会は、北朝鮮に対し、核実験とミサイル発射の強行に強く抗議するとともに、国家の防衛と国民の安全確保のため、下記のとおり要望する。

一、政府は、わが国の平和と安全、国民の安心・安全の確保のため、今後の北朝鮮の動向を含む情報収集及び分析を一層強化し、最大限の警戒監視態勢の下、引き続き万全を期すとともに、国民に対して適時適切な情報提供に努力すべきである。

（提出先 内閣総理大臣）

陳情の結果

不採択 ○「全国に誇る若葉台地区の景観と環境の保全並びに将来の稲城市の高齢者や子育て支援等に向けた若葉台小学校なかよし校舎跡地の土地利用方針等の見直し」に関する陳情

市議会を傍聴しませんか

次定例会は11月28日（火）開会予定です。市議会では、皆様の傍聴をお待ちしています。手続きは、当日市役所4階の議会事務局で受け付けとなります。お気軽にお越しください。

※第4回定例会の請願・陳情の締め切りは、11月20日（月）の午後5時までです。

本会議と委員会は、パソコン・スマートフォン・タブレットなどで視聴できます。※左のQRコードからご覧ください。



スマートフォン・タブレットで視聴できます！

